

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

<要旨>

1979年、国連はあらゆる分野で女性が性に基づく差別を受けない権利と平等の権利を保障する女性差別撤廃条約を採択し、日本は1985年にこの条約を批准した。

さらに、1999年には条約の実効性を強化し女性が抱える問題を解決するため、選択議定書が国連総会にて決議・採択され、2000年に発効している。現在、条約批准189カ国中115カ国が批准しているが、日本はまだ批准していない。

選択議定書には、個人通報制度と調査制度が含まれており、締約国は国際的な人権規準に基づき女性の人権侵害の救済と人権の保障をより強化できる。

このことから、鳩山町議会において、「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准を求める国会及び政府宛ての意見書の提出を求めるものである。



意見書を国へ提出

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

女性差別撤廃条約選択議定書への批准は、「ジェンダー平等後進国」である我が国にとって必要不可欠なものであり、国会及び政府に対し、速やかに批准することを強く求めるため、野田小百合議員から提出されました。

<反対討論>

女性の立場は既に十分向上し、今後も改善が期待できる。首相も閣僚も女性となり、彼女らに任せし、意見書には及ばない。
(関根)

<賛成討論>

条約の実効性を強化する付属条約が選択議定書。選択議定書を批准しないのは、法律は作るが遵守しないと言っているのと同じ。
(中山)

◎賛成多数 原案可決

(賛成7、反対2)

◎意見書の提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣・外務大臣

批准は日本のジェンダー平等達成に不可欠の課題。女性の権利を国際法に引上げ、労働問題での間接差別等も是正されるためにも早期の批准を。
(清水)

「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議長は議長

賛否の分かれた提出議案		議員氏名										審議結果
		関根	石井	中山	日坂	小鷹	森	野田	石井	清水	松浪	
		清隆	徹	明美	和久	房義	利夫	小百合	計次	秀幸	健一郎	
議員提出	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議	可決
町長提出	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議	可決
	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議	可決
議員提出	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

全議員が賛成した議案

町長提出	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	今宿コミュニティセンターの指定管理者の指定について
	一般職員の給与に関する条例の一部改正	令和7年度一般会計補正予算（第4号）
	町長等の給与等に関する条例の一部改正	令和7年度介護保険特別会計補正予算（第3号）
	国民健康保険税条例の一部改正	令和7年度水道事業会計補正予算（第2号）
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正	令和7年度下水道事業会計補正予算（第3号）
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正	町道第2534号線の廃止について
	地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正	町道第2533号線の廃止について
	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	